



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.21)

東京PCB廃棄物処理施設、新所長着任挨拶と 平成22年度東京事業所方針について

平成22年4月1日付で東京事業所の所長に就任いたしました塩飽晶夫（しわくあきお）と申します。

前職の豊田事業所では、新設された設備保全課を担当し、その体制の確立を目指してまいりました。豊田事業所も、東京事業所と同様に操業停止にかかるトラブルを経て、現在、安定した運転を継続しております。



塩飽晶夫東京事業所新所長

東京事業所も昨年度は、小さなトラブルはあるものの概ね安定した操業を実現できました。本年度も引き続き安定操業を維持するとともに、処理能力の向上の検討をしたいと考えております。

私事ですが、私は東京事業所の地元地区である豊洲に豊田事業所勤務期間を除き合計6年間住んでおります。地元住民の一人として、より多くの方々にPCB処理事業の必要性をご理解頂けるよう、また、今までと同様に情報をオープンにすることにより地域の人達から信頼される事業所となるよう、努力していきたいと考えております。

以下に本年度の事業所方針を掲げております。地元住民の方々をはじめ、関係者の方々の期待に応えられるよう、運転委託会社を含め事業所全員が一丸となって努力していく所存でございます。皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成22年度 JESCO東京事業所方針

1. **安全で信頼される操業体制の確立**
2. **処理施設の安定操業の確保と処理能力の向上**
3. **コンプライアンスに基づく事業運営の確立**
4. **心と体が健康で明るい事業所を目指す**

平成22年4月
日本環境安全事業(株)
東京事業所長 塩飽 晶夫

環境マネジメントシステム (ISO14001) の最終審査

東京PCB廃棄物処理施設は、平成21年4月より環境マネジメントシステムを運用しています。

ISO認証機関（KHK ISOセンター）の第一段階審査を1月27～28日に、最終審査を3月16～18日に受審しました。

審査は、「環境マネジメントシステムを構築し、運用し、自己評価（内部監査）し、レビューする一連の活動が、ISO規格に則り実行されているか」という観点から行われました。

審査の結果、東京事業所の環境マネジメントシステムは適切に運用されていることが確認され、5月中旬には正式にISO14001認証登録がされる予定です。

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当処理施設の平成22年1月～3月の処理実績は下表のとおりです。現在高濃度PCB廃棄物、低濃度PCB廃棄物とも順調に処理が進んでいます。

高濃度・低濃度区分	廃棄物種類	1月～3月 処理台数	操業開始からの 処理累計
高濃度PCB廃棄物	トランス類	82台	731台
	コンデンサ類	1,072台	7,368台
低濃度PCB廃棄物	柱上トランス絶縁油	512.1kl	6,190.9kl

*高濃度PCB廃棄物については処理に着手した台数を処理台数としています。

*連結コンデンサは内部に複数のコンデンサがあった場合も、1台としてカウントしています。

*東京事業所に係る安定器等の受入については、現在停止しております。

第19回東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業 環境安全委員会が開催されました。



東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会の様子

平成22年3月29日に東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会(委員長：中杉修身前上智大学大学院教授)を開催し、平成21年度後期に係る、東京PCB廃棄物処理施設の稼働状況及び環境モニタリング結果等について報告いたしました。

また、当施設の内部技術評価についても報告いたしました。

各委員からは、大きな事故は起こっていないものの、初歩的なミス及びヒューマンエラーなどへの対策に対してご教示いただき、また、報告内容をより理解できるように工夫をされたいとのご意見を頂戴しました。

東京PCB廃棄物処理施設の定期点検について

当施設では機器の法定検査や性能維持のために毎年定期的に点検を行っています。今年度も低濃度処理施設については4月19日から6月4日、高濃度処理施設は5月17日から6月16日まで定期点検を実施いたします。この期間はPCB廃棄物の処理を中止いたします。定期点検の詳細については次号(平成22年7月発行予定)にてご報告いたします。

平成21年度施設見学について

東京PCB廃棄物処理施設では施設見学案内を毎週火曜日、木曜日に実施しております。

昨年度は1,578人もの方々に見学にお越しいただき、1,189もの質問を頂戴しました(重複質問あり)。

見学にいらっしやった方は保管事業者などを含む民間企業のご担当者の方々が最も多く、他にスーパーエコタウンツアーに参加された方などがいらっしやいました。

また、海外からはAjou大学(韓国 74名)、北京市区・県友好代表団(中国 14名)、フィリピンバターン州視察(6名)、韓国環境紛争処理委員会(4名)、JICA研修(東南アジア、南米等 13名)と多くの方々に当施設をご覧いただきました。

今年度も多くの皆さまに見学いただきたいと考えております。

見学を希望される場合は、お電話にてお問い合わせください。



日本環境安全事業株式会社 東京事業所

〒135-0064 江東区青海三丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)※

TEL 03-3599-6023

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>

【※平成21年11月1日より住所表示が「江東区青海三丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)」に変更になりました】